

大阪狭山市文化協会会長

青森 勝野

Katsuno AOMORI

平成27年(2015)大阪狭山市は「大阪狭山の豊かな文化芸術を育むビジョン」を制定、個性と魅力に満ちたさやま文化があふれる町を提唱しました。そこで今号は大阪狭山市に活動する文化団体や文化活動家をまとめ、日常生活に心の豊かさや創造力をもたらす数々の市民参加事業を行い、人と人をつなぎ、文化の輪を広げ、市民参加の目的とする大阪狭山市文化協会の会長青森勝野さんにご登場いただき、その活動を通しての生き様を語っていただきました。



プロフィール

大阪狭山市文化協会会長
さやまプリティコーラスに結成時から力を注ぎ子どもコーラス国際交流、各種団体とのジョイントコンサートを実現させる。
茶華道に造詣が深く伝統文化の推進に尽力。
平成元年 大阪狭山市教育委員会表彰
平成22年 自治功労者表彰

青森勝野さんは昭和19年5月、朝鮮(現在の韓国)の九龍浦(クリヨンポ)で生まれました。祖父の事業の関係で一家は朝鮮に在住、翌昭和20年8月15日、日本は第二次世界大戦に敗れ終戦。青森さんは1歳半で両親とともに帰国、九州の祖母の元に身を寄せます。やがて世の中も落ち着き、子どもの頃は日本舞踊やバレエを習い、また姉のお茶の稽古にも興味を持ちます。本人は「着物を着たかったから」と。その後、父上の仕事の関係で高校時代を山口県で、又東京に移り大学受験、薬科大学に入学し医学や薬の勉強をすることになるのですが、一方宝塚歌劇にすっかりはまり東京宝塚劇場に通う日が多くなります。しかし、薬の勉強の方も怠らず薬剤師の国家試験に見事合格、大手会社の医務室勤務となりますが、仕事はそんなに忙しくなく又宝塚に通う日々。淀かほる、上月晃、古城都など、歌やダンスの上手いジェンヌが好きでした。

青森さん30歳前のことです。狭山での生活はひたすら主婦業に励みました。子どもも2人生まれましたので子育てと併せて両親の看護と毎日手いっぱいの子どもの達にしてやれることは長女にピアノ、次女は近くの子どもコーラスに入れることになりました。しかしそこで知り合ったプリティコーラスの指導者飯田美智子先生と親しくなり、先生の手伝いをしてコーラス団の雑用をしていくと団員の子どものお母さん達も集まってきて「プリティコーラス育成会」を作ります。これが青森さんがこの狭山の地で地域の文化活動に携わってゆくきっかけとなりました。飯田先生が引退され青森さんは後を継ぎ団長となり子どもコーラス活動に尽力、合唱連盟、文化連盟に所属し活動の場を広げました。



引退され副会長だった青森勝野さんが後を引き継ぐことになりました。以来25年間青森さんは大阪狭山市の文化団体の活動を助け見守り市民文化の向上を目指して協会運営に力を注いできました。

最後にこの長きにわたって運営されてきたその運営の理念をお聞きしました。

「わたしは物事は出来るだけ角を立てない方がよいと思うので決定に時間をかけます。それぞれが違うことを言っている、お互いを認め合いリスベクトして一つの大きな力になることを期待し願っているからです。わたし自身は大きな道の途中をたまたま受け持っただけですのでその道がずっと続くことを大切にしたいと思っています。」

これからのまちづくりに文化の力が大きく役立つていくのを願います。②



楽しい園芸



パッチワーク講習



囲碁・将棋大会



ブーケ講習



フラダンス講習



琴演奏



狭山音頭